

経営比較分析表（令和4年度決算）

静岡県 掛川市

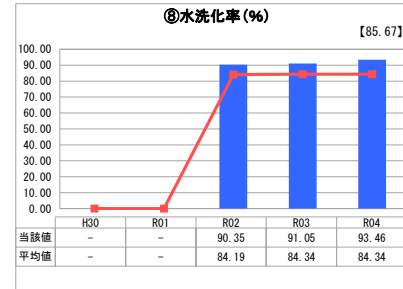
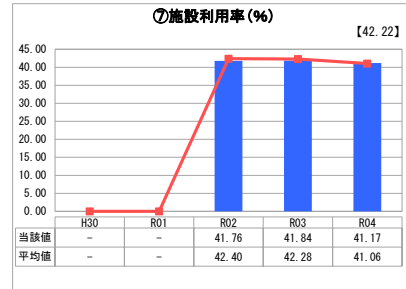
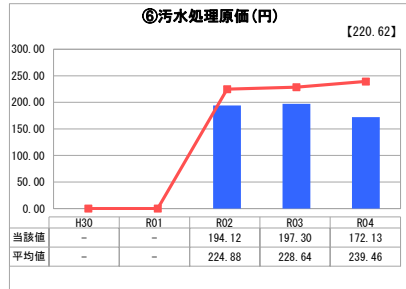
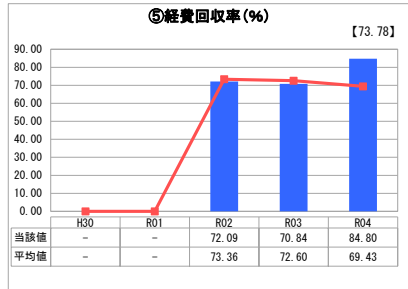
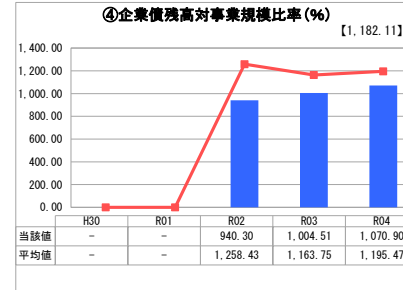
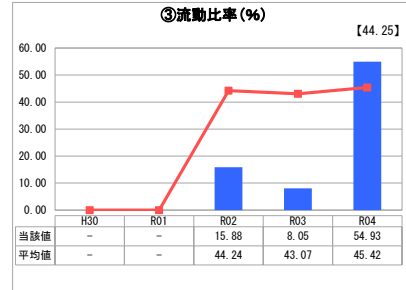
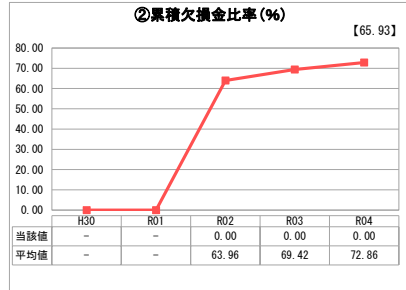
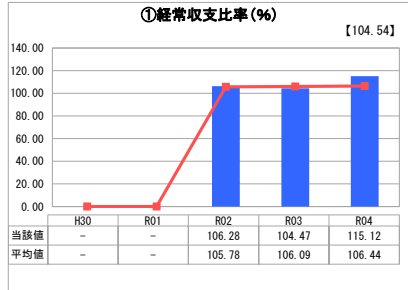
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	46.99	3.92	100.00	2,838

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
115,873	265.69	436.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,527	1.83	2,473.77

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性において、①経常収支比率は、前年度から増加となっており、100%を超え収支の均衡は保たれていますが、収益の大部分は一般会計からの繰入金となっています。⑤経費回収率は84.8%と100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料収入以外の収入（一般会計からの繰入金）により賄われています。③流動比率は100%を下回っていますが、流動負債の半分以上を企業債償還金に占めており、一般会計からの繰入金により賄われる見込みです。また、④企業債残高対事業規模比率は類似団体・全国平均よりも低くなっていますが、今後、償還ピークを迎える中で、引き続き新たな借入を償還額以内に抑えながら企業債残高の減少に努めます。なお、当事業は公共下水道事業に接続しており処理施設の管理は行っていないため、⑥汚水処理原価について事業単体で計算すると類似団体、全国平均よりも低くなっています。

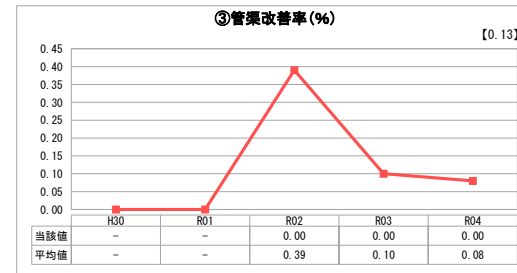
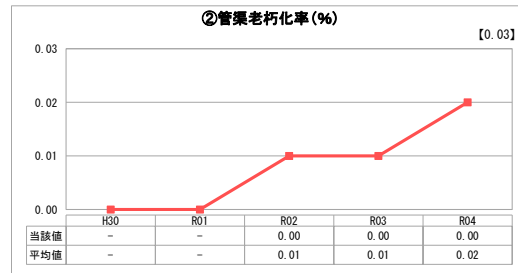
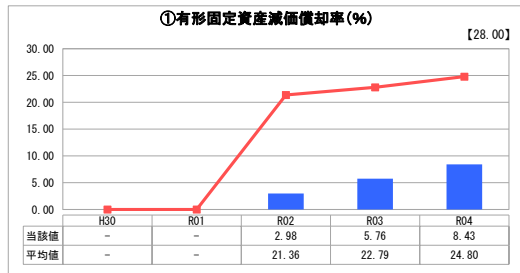
経営の効率性において⑦施設利用率は類似団体・全国平均と同水準となっています。令和7年度以降の農業集落排水及びコミュニティプラントの編入により処理水量の増加に繋がる見込みですが、長期的には節水型機器の普及に伴い大幅な増加が望みにくい現状にあります。また、⑧水洗化率は全国平均を上回っていますので、引き続き未接続世帯への啓発活動を行い水洗化率の向上を図ります。

2. 老朽化の状況について

当市公共下水道事業は、令和4年度に農業集落排水事業から統合した施設が平成4年度から建設事業を開始しています。その後他処理区についても建設事業を開始していますが、老朽化は現時点ではありません。

①有形固定資産減価償却率は、前年度完了工事分の帳簿原価が増加しましたが、全体に占める割合は低く、概ね増加率は前年度と同等となっています。今後も同水準で上昇していく見込みです。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和2年度から地方公営企業法を全部適用してから3年が経過し、経営成績や財務状況等の実態把握をすることで課題が見えてくるようになりました。経営課題としては経費回収率が100%を下回っており、汚水処理に係る費用が使用料収入により賄われていないことが挙げられます。今後、経営状況を改善するため、投資・財政計画を見直すとともに汚水処理費用の削減のため、民間活力の活用により効率的な下水処理方法を模索し推進していきます。使用料についても、財政シミュレーションにより適正水準を検討し、健全な下水道経営を進めていきます。また、計画的な管路整備に加えてストックマネジメント計画に基づく施設等の修繕を推進し持続可能な下水道事業を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。